

科目No.	506	科目名	コミュニケーション学特論5	サブネーム	男女共同参画の現代的展開とコミュニケーション
連携機関名	内閣府	レベル	基礎	講義枠	木曜日 講義時間 18:30~20:00
科目概要	男女共同参画は、少子化対策の側面や女性の活用をメトリックとして位置づけるなど、様々な観点からの取組が進みつつある。これら背景には少子高齢化、2007年問題に象徴される日本の労働力や国際化の進展などの社会全体の動きと無関係ではない。本講座においては、化学物質管理や技術革新と社会のかかわりなども含めて今日的な課題を題材に、複数の講師を交えた受講者との双方向のコミュニケーションのあり方について試みながら、男女共同参画の基礎を学習するとともに、このような社会のダイナミックな動きが男女共同参画とどのように関わるのかを学習する。				

サブタイトル	No.	講義名	講義概要	講義日	教室	講師名	所属
	1	総論	男女共同参画に関する基礎的な知識を身に付けるとともに、少子高齢化、人口減少、国際化、技術革新、リスク管理等現下の日本の状況から男女共同参画社会がこれらの諸課題の解決策としてどのように寄与しているのか概説する。また、本講座全体のガイダンスを行う。	4月12日	共通講義棟 3号館 第1講義室	板東久美子	内閣府男女共同参画局長
	2	企業戦略における女性の活用①	近年、様々な企業が化学物質管理などいろいろな場面における女性の活用について注目している。このシリーズにおいては、いくつかの企業の方から話を聞くことにより、女性の活用について企業がどのような戦略をもっているのかを考察する。(国際企業・大企業編①)	4月19日		金森 奈緒 南順子	松下電器産業株式会社多様性推進本部 内閣府男女共同参画局推進課課長補佐
	3	少子化と男女共同参画	女性の社会参画が少子化対策として近年脚光を浴びている一方、女性の社会参画は逆に少子化を加速させる要因であるという説も根強い。ここでは日本および環境面などにおいて女性の進出の著しい諸外国のデータから少子化と男女共同参画の関係について理解を深める。	4月26日		矢島洋子	三菱UFJリサーチ&コンサルティング 公共経営・公共政策部 主任研究員
	4	仕事と家庭の両立支援(ワークライフバランスの推進)	少子高齢化等が進展する中で、男女が仕事と育児・介護等の家庭生活などのバランスをはかること及び男女が安心して子どもを産み育てることのできる社会となることは重要である。育児・介護休業法その他の仕事と家庭の両立支援に関する施策等を紹介する。	5月10日		藤井龍子	大阪大学大学院招聘教授
	5	企業戦略における女性の活用②	近年、様々な企業が化学物質管理などいろいろな場面における女性の活用について注目している。このシリーズにおいては、いくつかの企業の方から話を聞くことにより、女性の活用について企業がどのような戦略をもっているのかを考察する。(国際企業・大企業編②)	5月17日		菅原香代子 日下部英紀	日本IBM 技術理事 内閣府男女共同参画局男女共同参画推進官
	6	高齢化社会と男女共同参画	女性の方が平均寿命が相当ながいことから、高齢化社会の問題は、女性の問題であるといえる。このような観点から年金問題をはじめ高齢化社会と女性に関する諸問題について解説する。	5月24日		袖井孝子	お茶の水女子大学名誉教授
	7	研究分野における女性の活躍	化学や生物の分野は女性の比率が高いが、全体としては日本の女性が理工系の進路に進み、かつ、それを職業として選ぶ女性は少ない。一方、国際的な競争力という観点等からは、外国人、若手と並び女性の研究者の育成は重要な課題である。このような理工系の進路選択と研究者の両立支援等について解説する。	5月31日		菅本 晶夫 宮浦千里 宮田幸宏	お茶の水女子大学女性支援室長 東京農工大学女性キャリア支援・開発センター 内閣府男女共同参画局課長補佐
	8	企業戦略における女性の活用③	近年、様々な企業が化学物質管理などいろいろな場面における女性の活用について注目している。このシリーズにおいては、いくつかの企業の方から話を聞くことにより、女性の活用について企業がどのような戦略をもっているのかを考察する。(国際企業・大企業編③)	6月7日		天野玲子 岡田裕子 塚崎裕子	鹿島建設土木技術部部长 エムズコミュニケーション代表取締役社長 内閣府男女共同参画局推進課副課長
	10	地域づくり、まちづくりと女性の活躍	諸外国において、環境、安全、街づくりなどの分野における女性の活躍は著しい。まちづくり、地域づくりの実例から女性の活躍が果たす役割や可能性について考える。	6月14日		藻谷浩介	日本政策投資銀行地域企画部参事役
	9	農山村における男女共同参画	家族経営が多い農業等の分野における男女共同参画の事例は、生活と仕事を男女が分担して行うという男女共同参画の一つの原点として注目すべき分野であるといえる。農山村における女性の位置付けや注目すべき取組について解説する。	6月21日		安倍澄子	(社)全国農業改良普及支援協会主任研究員
	11	企業戦略における女性の活用④	近年、様々な企業が化学物質管理などいろいろな場面における女性の活用について注目している。このシリーズにおいては、いくつかの企業の方から話を聞くことにより、女性の活用について企業がどのような戦略をもっているのかを考察する。(中小企業編)	6月28日		山中恵子 栗田奈央子	三笠運輸株式会社総務部長 内閣府男女共同参画局調査課調査官
	12	男性の視点からみた男女共同参画	男性にとっての男女共同参画とはどのようなものか。男女共同参画社会の実現が男性にとってどのようなメリットをもたらすものであるのか。最近、徐々に必要性が認識されるようになってきた男性側からの男女共同参画についていくつかの取組などについて紹介する。	7月5日		北田久枝 安田伸	NPO法人 男女共同参画おたの理事長 内閣府男女共同参画局推進課企画官
	13	女性の働きやすい職場(雇用機会均等法・セクシュアルハラスメントなど)	女性の社会進出に天きな役割を果たした雇用機会均等法が成立して20年。ここでは雇用機会均等法について解説するとともに、化学・生物分野において女性の進出が進んでいることを念頭におきながら、女性にとって働きやすい職場という観点からセクシュアルハラスメントなどの事項について解説する。	7月12日		安藤よし子 小泉紀子	厚生労働省雇用均等・児童家庭局雇用均等政策課長(財)21世紀職業財団 セクシュアルハラスメント防止従業員研修 専任講師 男女共同参画センター横浜館長
	14	女性に対する暴力(配偶者暴力を中心として)	配偶者からの暴力は、家庭内において行われるため、潜在化しやすく周囲も気がつかないうちに暴力が激化し、被害が深刻化しやすいという特性がある。このような身近に潜む「配偶者からの暴力」の現状と課題について説明する。	7月19日		納米恵美子 井原洋子	内閣府男女共同参画局
	15	男女共同参画社会の実現に向けて(まとめ)	受講者の問題意識も踏まえながら、男女共同参画に関するいくつかのテーマを設定し、受講者及び講師によるディスカッションを行う。	7月26日		定塚由美子	内閣府男女共同参画局推進課長

注 2007/2/16 5月24日の講義と7月5日の講義を入れ替え、5月10日の講師の変更(一人)。2007/3/23 教室の決定。2007/4/6藻谷講師と安倍講師の日程入れ替え、講師の変更(6/7)および矢島講師の所属変更、講義概要の修正。2007/4/13 講義日4/19の講師の一部変更。2007/5/18講義日7/12の講師変更(一部)。